

# 資料館 だより



目次▶

1

…新収蔵資料展

2

…事業報告

3

…事業予定

4

…柏木川9遺跡速報・開館カレンダー

## 新年あけましておめでとうございます

市民の皆様にとりまして、輝かしい一年でありますことをご祈念申し上げます。  
本年も皆様に親しまれ、愛される郷土資料館を目指して参りますので、是非、ご来館ください。

郷土資料館 職員一同

## 令和5年新収蔵資料展

開催期間：1月4日（木曜日）～1月25日（木曜日）

例年実施しております新収蔵資料展です。昨年1年間に寄贈を受けた生活用具を中心とする資料29件・194点(11/30現在)の中から約60点を選択してご紹介します。

かつては、付近の井戸から水をくみ上げ、天秤棒で水桶を担いで各家に備えられた水がめに水を貯え、飲料水、炊事や手洗いなどに使用されていました。水がめの水が減るとまた井戸から汲み上げて来なければなりません。毎日のたいへんな作業だったそうです。

収蔵資料番号 20921

### かめ

水道が敷設される昭和30年代まで  
水がめとして使用



市内柏木町在住 岩村正美さん 寄贈

- 10月 ●7日～9日…昔の道具体験コーナー  
●14日～12月10日…収蔵資料展「ミシン」  
●21日～22日…アイヌ文化マスター育成事業（第4回）
- 11月 ●12日…アイヌ文化マスター育成事業（第5回） ●12日…第1回アイヌ文化講演会
- 12月 ●10日…アイヌ文化マスター育成事業（第6回）

## アイヌ文化マスター育成事業



▲国立民族学博物館（大阪府）

アイヌ文化マスター育成事業を実施したので報告します。アイヌ文化マスターとは市内在住の中高生を対象としており、道内外の博物館などへ行ってアイヌ文化について学ぶ事業です。今回は、10月21日～22日にかけて大阪府と三重県にアイヌ文化を学びに行ったのでその報告をし

ます。

大阪府では、国立民族学博物館へ行きました。この博物館はとて大きく、1日ですべての展示を見ることが不可能なほどです。同館の齋藤准教授に、アイヌ文化や外国の民族について等解説していただきました。参加者は、質問したり展示をじっくりと見るなど興味津々な様子でした。

三重県では、松浦武四郎記念館と松浦武四郎生誕地へ訪れ同館の山本館長と佐藤学芸員に案内していただきました。北海道の名付け親とも言われている松浦武四郎が生まれた家が現地に

残されており、中に入ることもできます。また記念館では、松浦武四郎の作成した北海道の地図が拡大して展示されており、参加者は恵庭の場所を探そうと必死になっていました。



▲松浦武四郎記念館（三重県）

この2日間、皆さんとても充実した体験ができたようで良かったです。引き続き残りの事業も進めてまいります。

## 第1回アイヌ文化講演会

11月12日に恵庭市民会館2階大会議室で第1回アイヌ文化講演会を開催しました。アイヌ文化講演会とは、アイヌ文化の専門家にアイヌに関することをわかりやすく講演していただき、皆さんにアイヌ文化について知ってもらうことを目的とした事業のことです。記念すべき第1回目は、文化庁調査官である内田氏に、「松浦武四郎が記



▲内田祐一氏

した幕末の恵庭」という演題でご講演いただきました。講演会について広報えにわ等掲載した時から資料館に問い合わせが来るなど、皆さんからの注目度の高さがうかがえました。講演会では、恵庭の地に来た松浦武四郎が実際に見たと思われる場所についてなど、様々なことを解説していただきました。お話は多岐に渡り内田氏の準備した内容の半分程しか披露できなかったと、参加者からは講演会の第二弾を期待する声も上がっ

した幕末の恵庭」という演題でご講演いただきました。講演会について広報えにわ等掲載した時から資料館に問い合わせが来るなど、皆さんからの注目度の高さがうかがえました。講演会では、恵庭の地に来た松浦武四郎が実際に見たと思われる場所についてなど、様々なことを解説していただきました。お話は多岐に渡り内田氏の準備した内容の半分程しか披露できなかったと、参加者からは講演会の第二弾を期待する声も上がっ



▲講演会の様子

ていました。資料館としても来年度の第2回アイヌ文化講演会で、内田氏に続きをお話したいと考えております。

今回参加できなかった方も、もし機会がありましたら是非参加してみてください。きっと楽しんでいただけたと思います。

- 1月**
- 4日～25日…令和5年新収蔵資料展
  - 5日・13日・19日・27日…郷土資料館展示解説
  - 14日…アイヌ文化マスター育成事業（第7回）

- 2月**
- 3日～3月10日…ひな人形展
  - 4日…アイヌ文化マスター育成事業（第8回）

## ひな人形展



3月3日の桃の節句を前にひな人形を展示します。これまで寄贈を受けた8組(明治末期、大正、昭和2年、昭和28年、昭和32年、昭和40年、昭和50年、平成2年)に加え、今年度新たに昭和6年の1組が加わり、全9組をご紹介します。

◀昭和32年のひな人形

## 郷土資料館展示解説

1月から3月の第1・第3金曜日、第2・第4土曜日に郷土資料館展示解説を行います。学芸員がわかりやすく解説しますので、お気軽にご参加ください。  
※事前申込は不要です。参加ご希望の方は、各日10:00までに郷土資料館エントランホールにお集まりください。

### 1月の開催日

5日(金)  
13日(土)  
19日(金)  
27日(土)

時間 10:00～10:50



※2月以降の詳しい日程は、広報えにわ等でお知らせいたします。

## えにわ歳時記展

その月に関する資料を2～3点ずつご紹介します。

- 1月 火鉢 南極の石
- 2月 札幌オリンピック資料
- 3月 卒業式の写真



◀1月



▶2月



◀3月

今年も実りました



## 赤米（あかまい）

市内恵み野東在住 平尾恒夫さん 栽培

古代米として知られる赤米です。稲はもともと暖かい地方の作物なので野生に近い赤米の栽培は北海道では難しいそうですが、昨年、屋内でビニールの覆いをかけるなど高温を保てるように工夫した結

果、米を実らせることができました。今年は、昨年収穫した種もみと購入した種もみを比較しながら試験的に栽培を試みたところ、いずれも同じくらい実を結びました。



▲ 竪穴建物跡

遺跡(柏陽町3丁目280-1外)はJR恵み野駅の西500mに位置し、柏木川(延長10.2km)の中

流右岸台地上に立地します。今年度も令和4年度に引き続き、民間の開発事業に伴う1,317㎡の発掘調査が6月から10月まで恵庭市教育委員会により行われました。

遺構は竪穴建物跡5基・土坑墓1基・土坑31基などが確認され、大半は縄文中期のものと推定されています。遺物は約24,000点で、土器は縄文早～後期のものが見つっています。

特筆すべきは縄文前期前葉の竪穴建物跡で、大きさは5×4m(写真)。約7,000年前に造られたと推定され、昨年度の建物跡6軒とあわせて集落を形成していたと考えられます。

整理作業は令和5～6年度に行われ、令和6年の夏には報告書を刊行します。今後展示や報告会を行う予定ですので、お楽しみに。



## 郷土資料館 開館カレンダー



### 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

### 3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 毎週月曜日が**休**館日です。  
…▶ただし、月曜日が休日の場合、**開館日**です。その場合、振替となり火曜日、水曜日が**休**館日となります。
- 休日は**開館日**とし、翌日が**休**館日になります。  
…▶ただし、土曜日、日曜日にあたる場合は、**開館日**です。
- 毎月最終金曜日は、資料整理のため**休**館日となります。  
…▶ただし、最終金曜日が休日にあたる場合は、前日が**休**館日になります。
- 年末、年始の**休**館日は、12月28日～1月3日です。

### 休館日の詳細



## 編集後記

この冬から館内の寒さ対策として、暖気の逃れ先と考えられる2階への階段をビニールで覆うことになりました。さらに常設展示室の出入口や窓にもビニール。これで駄目なら館全体を覆うしかない? (よ)

資料館だより No.64 2024年1月4日発行

発行 恵庭市郷土資料館 住所 〒061-1375 恵庭市南島松157-2 TEL/FAX 0123-37-1288

開館時間 午前9時30分～午後5時 入館料 無料